



平成 26 年 9 月 1 日

各 位

株式会社リサ・パートナーズ

東京都民銀行及び日本政策投資銀行との協働による

首都圏中堅・中小企業の活性化基金ファンド「とうきょう活性化基金」の組成について

このたび、株式会社リサ・パートナーズ（本社：東京都港区、代表取締役社長：田中敏明、以下「RISA」）は、株式会社東京都民銀行（本社：東京都港区、代表取締役頭取：柿崎昭裕、以下「都民銀行」）、および株式会社日本政策投資銀行（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：橋本徹、以下「DBJ」）とともに、首都圏経済の活性化に資する中堅・中小企業に対し、再生から成長への足掛かりならびに成長の底支えのためのニューマネーの供給を目的として、総額 3,000 百万円の「とうきょう活性化基金投資事業有限責任組合」（以下「本ファンド」）を組成いたします。

なお、本ファンドの業務執行は、都民銀行、DBJ 及び RISA による共同出資会社である株式会社とうきょう活性化ソリューションズが行います。

また、本ファンドは本年 3 月に DBJ と RISA との間で締結しております「地域経済の活性化に関する業務協力協定」における、本年 4 月組成の「観光活性化マザーファンド」に続くプロジェクトであります。

さて、わが国の経済は、緩やかな回復基調が持続しており、今後、回復から成長へとその効果を広げていくことが課題となっております。

さらには、地域金融機関においては、金融円滑化法期限到来後 2 年近くを経て、真に成長支援すべき取引先に対するリソースの集中とその成長の加速促進が求められているところであります。

このような状況下、首都圏は、中堅・中小企業の集積が多く、それらの企業の事業拡大や再生を通じた成長支援が首都圏の経済活性化に大きく寄与することから、今般、首都圏に強固な基盤を有する都民銀行と、RISA と同様に全国各地で地域目線を持ちつつ、地域金融機関と協業しながら専門性の高い投融資等のビジネスを展開してきた DBJ と本ファンドを組成する運びとなりました。

本ファンドは、確かな事業性を有する首都圏の中堅・中小企業に対し、再生から成長まで一貫して支援するため、ABL や劣後ローン等、多様な金融サービスを組み合わせ、段階的・複合的に資金の供給を行う新しい枠組みのファンドです。

日本の首都「東京」を中心とする首都圏において、3 者の協働により、専門的かつ的確なソリューションを提供することで、首都圏の活性化に幅広く貢献することができるものと考えております。

RISA では、全国での企業の成長・再生支援等を通じて蓄積したノウハウと豊富な人材を最大限活用しながら、地域経済の活性化に向けて、全力を挙げて取り組んでまいります。

※ 本ファンド概要等につきましては、別紙「とうきょう活性化基金説明資料」をご参照ください。

〔本件に対する問い合わせ先〕

株式会社リサ・パートナーズ 経営管理部 電話番号 03-5796-8500（代表）

108.6219 東京都港区港南 2.15.3 品川インターシティ C 棟 19F

【とうきょう活性化基金説明資料】

1. ファンドの内容

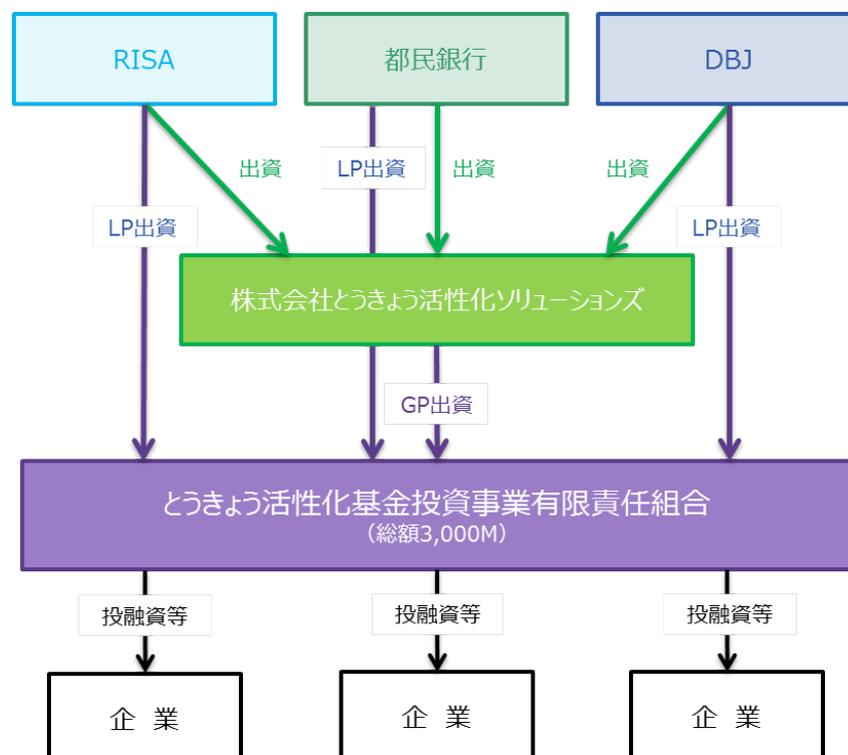
(1) ファンド概要 (予定)

名称 : とうきょう活性化基金投資事業有限責任組合
 設立 : 平成 26 年 9 月 9 日
 ファンド形態 : 投資事業有限責任組合
 ファンド総額 : 3,000 百万円
 ファンド出資者 : 株式会社とうきょう活性化ソリューションズ (無限責任組合員)、
 株式会社東京都民銀行、株式会社日本政策投資銀行、株式会社リ
 サ・パートナーズ (以上、有限責任組合員)

(2) ファンド運営会社の概要

名称 : 株式会社とうきょう活性化ソリューションズ
 設立 : 平成 26 年 8 月
 代表者 : 長廣 伸幸 (株式会社リサ・パートナーズ取締役投資銀行本部長)
 株主 : 株式会社東京都民銀行、株式会社日本政策投資銀行、株式会社リ
 サ・パートナーズ (ファンド設立以降の株主: 予定)

(3) ファンドスキーム図



以上